

リアルワールドで走り鍛える。

“飛ばす”というと反社会的な行為に思われるが、欧州の人達は実によく飛ばすものだと感じる。NEW STiの走りを造るために、私たちは欧州で長期テストを行い、かつてないほど徹底的に走り込んだ。その理由は、欧州といういわば走りの本場で鍛え上げる必要性を痛感しているからだ。例えばドイツのアウトバーンが速度無制限なのは有名だが、一般道でも制限速度が100km/hという高速であることも少なくない。しかも、車線はギリギリ、路面には轍も目立つ。そんな道を老若男女がハイスピードで流れをつくっている。ここでは、200km/hからのフルブレーキや、雪道で100km/hの直進安定性といった性能にもリアリティがあり、日本では考えられないほど正確なコントロール性や絶対的な安心感が求められる。クルマ本来の目的とは、目的地まで「速く、楽しく、安全に」着くことだろう。速さは、安全に通じている。安全は、速さに通じている。だから、私たちはリアルワールドで「走り」を鍛え続ける。



PHOTO:WRX STi WRブルーマイカ(左)、スポーツワゴンSTi プレミアムシルバーメタリック(右) HIDロービームランプ、濃色ガラスはメーカー装着オプション。